

## 第6節 食品ロス削減の推進（一部再掲）

この節では食品ロス削減推進計画において行政、消費者、事業者それぞれが主体となって取り組む施策を再掲するとともに、県で進める取組についてまとめたものです。

### 1 食べ残しを減らそう県民運動～eプロジェクト～

#### (1) 家庭での食品ロス削減を呼び掛けます。

(例) ・計画的な買い物

・作りすぎない

・食べられる部分を必要以上に取除かない

#### (2) 事業系の食品ロスを減らすため、食品ロス削減に取り組む店舗等を増やすとともに、循環型社会形成推進功労者表彰制度により、食品ロスの削減等に顕著な実績を上げている店舗・事業者を表彰します。

#### 施策の展開

##### <協力店登録制度>

小盛りメニューの導入、持ち帰り希望者への対応、ばら売り・量り売り、食品ロスを減らすための呼び掛け等取組を1つ以上実践している事業者を協力店として登録しています。

令和2年3月末現在店舗 868 店舗

(飲食店：647、小売店：96、宿泊施設：125)



#### (3) 外食や宴会での「残さず食べよう！30・10運動」を広げます。

☞特に食べ残しが出やすい暑気払いシーズンの7～9月と、忘・新年会シーズンの12～1月を重点期間とする「宴会たべきりキャンペーン」を実施し、広報活動を行います。

#### 施策の展開

##### <残さず食べよう！30・10運動>

宴会が始まった最初の30分間と最後の10分間は自分の席について料理を楽しみ、食べ残し（食品ロス）を減らす運動を実施しています。



- (4) 小売業者と連携し、消費期限・賞味期限間近な食品の購入を呼び掛けます。

#### 施策の展開

##### <信州発もったいないキャンペーン>

消費者に身近な小売事業者と連携し、食品ロス予備軍である「消費期限及び賞味期限間近な値引き食品の購入」を促進し、食品ロスの発生抑制を図っています。



- (5) 食品ロスについて考える環境教育を行います。

子どもたちに身近な食べ残しなどの「食品ロス」等を題材にした環境教材を作成し、県内の小学校で活用することで、環境問題に対する意識を醸成し、食品ロスを減らす行動を促します。

## 2 未利用食品の提供の呼び掛け（フードバンク活動、フードドライブの推進）

- (1) 県内事業者や県民に対して、未利用食品の提供を呼び掛けるとともに、フードバンク活動の認知度を向上させ、事業者と活動団体のマッチングの場を提供するなど活動を支援します。
- (2) 県内事業者や県民に対し、災害備蓄食料の確認及びフードドライブの活用を呼びかけます。
- (3) 県内市町村にフードドライブ等の協力を呼びかけます。

## 3 家庭から排出される食品ロス調査の促進

県は、市町村が家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの割合を調査し、食品ロス削減に向けて効果的な取組の実施に努めることができるように、市町村に対し、先進事例の情報提供など技術的な助言を行います。

## ✿ コラム | 信州プラスチックスマート運動の推進（一部再掲）

信州プラスチックスマート運動は4 R全体に関わる取組のため、このコラムでは前述した取組内容をまとめています。

### <信州プラスチックスマート運動とは？>

近年、世界的な問題となっている海洋プラスチック問題に上流県として向き合い、生活スタイルの見つめ直しから県民、事業者、行政がそれぞれの立場でプラスチックと賢く付き合う「信州プラスチックスマート運動」を令和元年5月から開始しました。

県民に次の3つの意識した行動を呼び掛けます。

#### 1. 意識して「選択」

何気なく受け取っているストローやレジ袋、不要なときは断ってみましょう。

#### 2. 少しずつ「転換」

できるだけマイバッグやマイボトルを使うよう心掛けましょう。詰め替え製品を選ぶようにしていきましょう。

#### 3. 分別して「回収」

役目を終えたプラスチック製品は自治体のルールに従い分けて回収へ。



また、広報・啓発、協力事業者登録制度（プラスチックごみ排出量削減、再資源化、代替製品等の製造・開発等を行う事業者を登録）を通して取組の輪を広げています。

### <信州プラスチックスマート運動の取組>

#### 1 3つの意識した行動（意識して選択・少しずつ転換・分別して回収）の呼び掛け・取組

- ・社会全体の過剰包装の削減等に向けて、ストローや使い捨てスプーン等、不要なものは断るという「意識して選択」を呼び掛けます。
- ・マイバッグ、マイボトルの使用が更に増えるように、普及啓発に努めます。（少しずつ転換）
- ・ワンウェイ製品の使用を見直し、長く使えるものを推奨します。（少しずつ転換）
- ・市町村のルールに則った分別排出を促すため、「分別して回収」を呼び掛けます。
- ・県及び市町村等は、公共調達においてプラスチック代替製品の活用を進めます。（少しずつ転換）
- ・県及び市町村等は、県民へリプレイス実践のための具体的行動（例：長野県版エシカル消費の実践等）を呼び掛けます。（意識して選択・少しずつ転換）

## 2 協力事業者制度の促進

- ・生分解性プラスチックやバイオマスプラスチック等の導入に取り組む事業者・団体等を登録し、その活動を長野県ごみ減量情報サイト「信州ごみげんねっと」等で広く紹介するとともに、循環型社会形成推進功労者表彰により、顕著な実績を上げている事業者・団体等を表彰します。

### <信州プラスチックスマート運動協力事業者を募集しています！>

県では、信州プラスチックスマート運動の一環として、県内でプラスチックごみの削減や代替製品の製造等に取り組む事業者・団体等を登録し、その取組を紹介しています。

#### 登録できる方

長野県内でプラスチック削減等に取り組まれている事業者、団体、学校など

#### 登録されると

「登録証」を交付し、「信州ごみげんねっと」で取組内容等を紹介

#### 登録内容の例

プラスチックごみを減らす取組、プラスチックの製造・研究、ボランティアなど



## 3 制度融資・産学官連携による研究開発・事業展開等の促進

- ・信州創生推進資金（事業展開向け）において「プラスチック等の石油由来製品を環境に優しい素材や製品に転換することに係る研究開発・事業展開を行おうとする者」の事業展開を支援します。
- ・産学官連携で進める、環境負荷低減等が期待できる材料技術活用による製品開発プロジェクトの取組を支援します。

## 4 県庁率先行動によるプラスチックごみの削減

- ・県庁においては、会議でのマイボトルの持参に取り組みます。
- ・県では、県有施設に自動販売機を導入する場合は、1台に1個の割合で回収ボックスを設置するなど、使用済み容器が適切に回収・リサイクルされるよう努めます。

## 5 クリーン信州 for ザ・ブルー

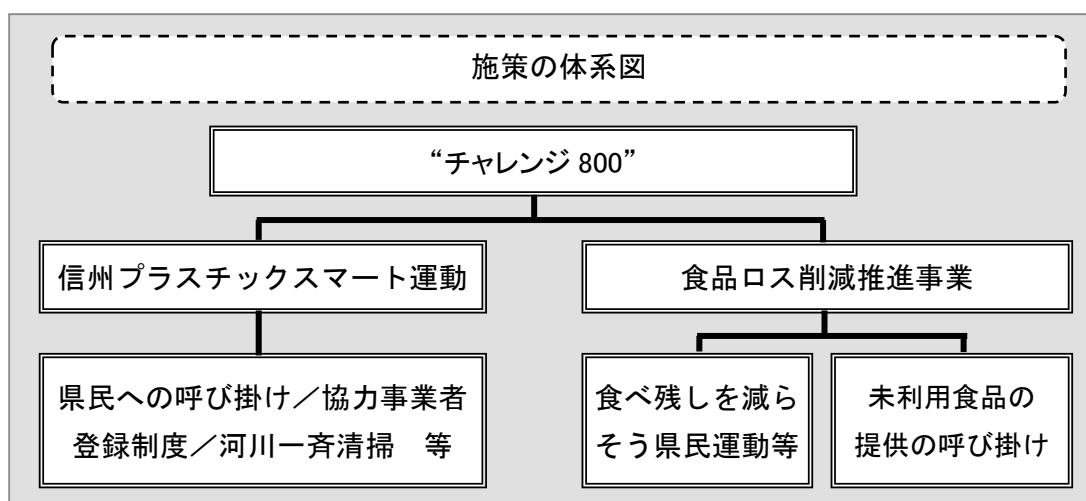
- ・信州プラスチックスマート運動で、海洋プラスチック問題について上流県から取り組むきっかけの一つとするため、ボランティアの方に参加いただく河川清掃を、海ごみゼロウィーク期間（5月30日～6月8日）前後に実施します。
- ・令和元年度は、県内10か所で実施し、ボランティアの方を含む385人により、計約13,000リットルのごみを回収、うち約64%がプラスチックでした。
- ・この活動を更に広げるため、流域沿岸県と連携して取組を進めます。

## ✿コラム | チャレンジ 800 ごみ減量推進事業

県では、1人1日当たりごみ排出量 800 グラム以下を達成するため第4期において「チャレンジ 800 ごみ減量推進事業」に取り組んでいます。

この取組を継続し、全県又は広域単位でのごみ減量化の取組を市町村等と連携して実施していくとともに、県職員自らがごみ減量に向け率先して行動します。

この目標を達成するために、県では「信州プラスチックスマート運動」、「食品ロス削減推進事業」の2つの大きな施策を軸に、ごみの減量に取り組んでいきます。

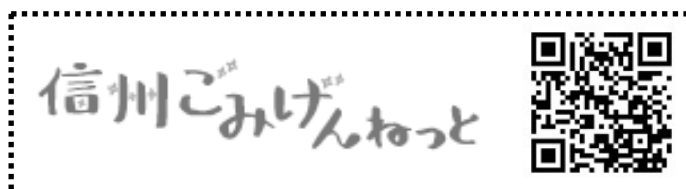


チャレンジ 800 ごみ減量推進事業とは、しあわせ信州創造プラン 2.0 及び第四次長野県環境基本計画に掲げる「県民 1 人 1 日当たりの一般廃棄物排出量 795 グラム」を達成しようとする取組です。

## ✿コラム | 信州ごみげんねっと

信州ごみげんねっとは、ごみの減量や食品ロス削減に関する情報等を集約して発信する専用サイトです。

このサイトでは、食べ残しを減らそう協力店舗や、信州プラスチックスマート運動協力事業者の取組事例を掲載しているほか、県内市町村で開催されるイベント情報を掲載していますので、是非御利用ください。



(<https://www.shinshu-gomigen.net>)

